LU-100 のプローブのメンテナンスについて

LU-100 のプローブ断面図

LU-100のプローブには、遅延材と探触子の間に接触媒質（カッププラント）が塗られています。

このカップラントは、超音波減衰防止のために塗られていますが、時間の経過とともに乾燥し、測定に影響を及ぼすことがあります。

次のような症状が現れたときには、カップラントの確認およびメンテナンスを行ってください。

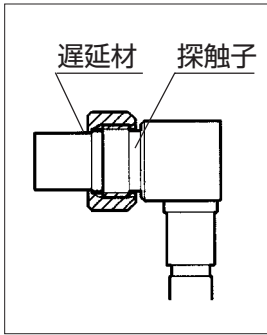
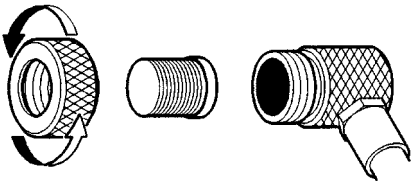
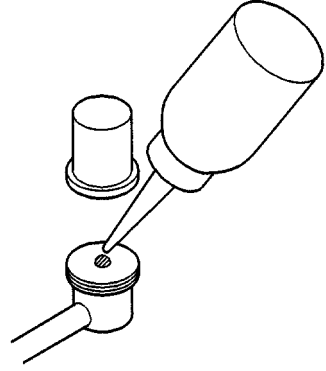
- ● 測定前の波形を見たとき、波が小さい
- ● S エコーキャルができない
- ● いままで測定できていた試料が測定できない

カップラントの確認とメンテナンス方法

説　明	図
① ホルダーBのネジを外し、ホルダーAの中から探触子Ass'yを取り出します。	ホルダーB　探触子 Ass'y　ホルダーA
② 探触子ナットを外します。	探触子ナット　遅延材　探触子
③ 遅延材と探触子の間にカップラントが付いているかを確認し、カップラントが付いていない場合は、図のように少量塗布します。 *1 探触子のケーブル接続部にカップラントが付かないように注意してください。 *2 探触子と遅延材の接触面にゴミが付着しないように注意してください。 （接触面にキズがつくと、測定できなくなる場合があります）	
④ 遅延材と探触子をすり合わせるようにしてカップラントをなじませ、外したときと逆の手順で、プローブを組み立ててください。	

＊ 組み立て終了後、必ず校正を行ってください。
校正の方法は、『取扱説明書』P.14をご参照ください。

0410・KO・0103・020

LU-600B のプローブのメンテナンスについて

LU-600B のプローブ断面図

LU-600Bのプローブには、遅延材と探触子の間に接触媒質（カップラント）が塗られています。

このカップラントは、超音波減衰防止のために塗られていますが、時間の経過とともに乾燥し、測定に影響を及ぼすことがあります。

次のような症状が現れたときには、カップラントの確認およびメンテナンスを行ってください。

- 測定前の波形を見たとき、波が小さい
- S エコーキャルができない
- いままで測定できていた試料が測定できない

カップラントの確認とメンテナンス方法

説　明	図
① 探触子ナットを外します。	
② 遅延材と探触子の間にカップラントが付いているかを確認し、カップラントが付いていない場合は、図のように少量塗布します。 *1 探触子のケーブル接続部にカップラントがつかないように注意してください。 *2 探触子と遅延材の接触面にゴミが付着しないように注意してください。 （接触面にキズがつくと、測定できなくなる場合があります）	
③ 遅延材と探触子をすり合わせるようにしてカップラントをなじませ、外したときと逆の手順で、プローブを組み立ててください。	